

ヨトウガの生態等

○生態

- ・成虫は年2回の発生で、蛹態で土中で越冬する。
- ・成虫の発生時期は、1回目成虫は4月上旬から5月下旬、2回目成虫は9月上旬から10月下旬。
- ・夏期(7～8月)に、蛹で夏眠する。
- ・雌成虫は、2,000～3,000個の卵を産下するが、これらを数卵塊に分けて葉裏に産み付ける。
- ・卵は、1週間から10日でふ化する。
- ・幼虫は、5～6齢になると、昼間は株元の土中や、作物の芯などに潜み、夜間に現れて食害する。
- ・幼虫は、ふ化後約1か月で蛹となる。

○被害を受ける作物

幼虫は広食性であり、キャベツ、ハクサイなどのアブラナ科野菜、マメ科作物、花き類など多くの広葉作物する。



写真 フェロモントラップに誘殺された雄成